

開 拓 ～本領に生きる～

令和6年11月29日

2024年も残すところひと月となりました。師走という季節は、あれもしないといけない、これもしないといけないと毎年、気ぜわしく感じます。

生徒は11月27日～29日までの3日間、2学期最後の定期テストを終えました。おそらく、テスト発表中は自分なりの努力をし、テスト当日に臨んだ生徒が多いと思います。そして、テスト後は採点されたテストが返却されますが、その結果を見て、満足と不満足の表情や声を見聞きすることになります。

何事にも結果は付き物で、割合、人はそれに一喜一憂するものです。今回の結果に満足する気持ちは次回への邁進につながると思います。一方で、不満足な気持ちは、反省してきちんと向き合い、今後に生かしてほしいと思います。もちろん、反省はその時だけで終わらないようにしたいものです。テスト発表中の学習について、どこを改めていけば自分が満足することができたのか、取組を振り返り、きちんと自己分析しておくことが大切です。見付け出した改善策をこつこつと実行していくことで、反省をすることが減り、「学ぶ人」としての成長につながるのだと思います。

2025年が目の前に来ています。あとひと月、教職員も今年の成果と課題を振り返り、「来年こそは！」と、新たな気持ちで成長していきたいと思っています。

令和6年度文化祭(11/2)

11月2日(土)に、令和6年度大西中学校文化祭を開催しました。2年生の学習発表では、「今治の未来を考える」というテーマで、これからの大西町の町づくりについての建設的な提案を行いました。恒例の合唱コンクールでは、3年1組が「友～旅立ちの時～」で最優秀賞、3年2組と2年1組が優秀賞という結果でした。また後半は、生徒会のクイズ大会や吹奏楽部の演奏などで盛り上がりました。

